



## 2020年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月12日

上場会社名 株式会社インタースペース 上場取引所 東  
 コード番号 2122 URL http://www.interspace.ne.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河端 伸一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理管掌 (氏名) 岩淵 桂太 TEL 03(5339)8680  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年9月期第1四半期の連結業績 (2019年10月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第1四半期	6,233	△13.8	89	△52.7	104	△48.1	60	△52.3
2019年9月期第1四半期	7,234	8.9	189	△2.7	200	△0.7	126	17.7

(注) 包括利益 2020年9月期第1四半期 58百万円 (△54.4%) 2019年9月期第1四半期 127百万円 (21.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第1四半期	8.91	—
2019年9月期第1四半期	18.69	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年9月期第1四半期	9,128	4,926	54.0	726.13
2019年9月期	9,091	4,983	54.8	734.58

(参考) 自己資本 2020年9月期第1四半期 4,925百万円 2019年9月期 4,982百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	17.00	17.00
2020年9月期	—	—	—	—	—
2020年9月期 (予想)	—	0.00	—	14.00	14.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2. 2019年9月期期末配当金の内訳 普通配当 14円00銭 記念配当 3円00銭

### 3. 2020年9月期の連結業績予想 (2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	12,700	△18.9	80	△88.0	80	△88.2	53	△87.1	7.81
通期	27,000	△5.4	400	△54.4	400	△55.1	260	△41.7	38.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年9月期1Q	6,967,200株	2019年9月期	6,967,200株
2020年9月期1Q	184,318株	2019年9月期	184,318株
2020年9月期1Q	6,782,882株	2019年9月期1Q	6,782,959株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来予想に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
(1) 経営成績に関する説明 .....	1
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、消費税増税や自然災害の影響が懸念されるものの、雇用・所得環境の改善、各種政策の効果もあり、景気は緩やかな回復が続いています。

当社グループが属するインターネット広告市場は、2020年度には2兆円を超えると予想され、引き続き安定的な成長が見込まれております。デバイス別ではスマートフォン広告がその7割強を占めるとされ、特に動画広告は広告フォーマットとして更に拡大しております。(株式会社矢野経済研究所調べ)

こうした事業環境のもと、当社グループは「広告事業の収益力強化」「BtoC領域の強化」「グローバル展開の推進」を重点項目として掲げ、広告事業の新たな国内外のクライアントの獲得、業務効率化の推進および販管費の抑制、メディア運営においては、消費者に真の価値のある有益なコンテンツやサービスを開発、東南アジアを中心としたアフィリエイトサービス「ACCESSTRADE」のグローバル展開をはじめ、中長期の成長を見据えた事業価値の向上に取り組んでおります。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は6,233百万円(前年同四半期比13.8%減)、営業利益は89百万円(前年同四半期比52.7%減)、経常利益は104百万円(前年同四半期比48.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は60百万円(前年同四半期比52.3%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## &lt;インターネット広告事業&gt;

当事業は、インターネットを活用した成果報酬型広告であるアフィリエイトサービスを軸に事業を展開しております。主力のアフィリエイトサービス「アクセストレード」においては、広告表現健全化の取り組みにより、ECカテゴリの一部において、昨年度に比べ減少いたしました。中長期的な事業の成長を見込んだ対策であり、当初の計画通りに推移しております。また、サービスカテゴリの恋活・婚活案件が好調に推移いたしました。また、中長期的な成長を後押しする新たなカテゴリ開拓を引き続き注力してまいります。店舗向けアフィリエイトサービス「ストアフロントアフィリエイト」においては、営業エリアを拡大し稼働店舗の増加に努めたほか、スマートフォン向けセキュリティ商品のユーザー獲得を強化し将来への収益基盤の積み上げに注力いたしました。さらに、海外事業においては、既存進出国の伸長に加え、新たにマレーシアおよびシンガポールにて稼働を開始し、事業の拡大に注力いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は6,008百万円(前年同四半期比14.2%減)、セグメント利益は161百万円(前年同四半期比11.9%減)となりました。

## &lt;メディア運営事業&gt;

当事業は、日本最大級のママ向けコミュニティサイト「ママスタジアム」を軸に事業を展開しております。主力の「ママスタジアム」では、166の保育所や学童保育施設の運営事業を行うグローバルキッズ社と業務提携し、当社が運営する保育施設の空き定員数をママスタジアム上で展開する「ママスタ保活」との連携を行いました。また、LIFULL社が運営する不動産・住宅情報サイト「LIFULL HOME'S」との情報連携により不動産の物件掲載を開始したことで、ユーザー向けのコンテンツ拡充と利便性の向上に注力いたしました。一方で、「BtoC領域の強化」を目的として新規メディアの創出や既存メディアへの中長期に向けた事業投資は継続し、メディア事業の拡大に取り組んでまいります。

これらの結果、当事業の売上高は257百万円(前年同四半期比3.8%減)、セグメント損失は71百万円(前年同四半期はセグメント利益6百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は7,791百万円となり、前連結会計年度末に比べ46百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が776百万円増加した一方で、現金及び預金が700百万円減少したことによるものであります。売掛金の増加は、前第4四半期連結会計期間に比べて当第1四半期連結会計期間の売上高が増加したことに伴うものであります。固定資産は1,336百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円減少いたしました。これは、減価償却を主因として有形固定資産が15百万円減少し、ソフトウェア投資等により無形固定資産のうちその他が19百万円増加した一方、投資その他の資産のうちその他が13百万円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は9,128百万円となり、前連結会計年度末に比べ36百万円増加いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は4,128百万円となり、前連結会計年度末に比べ100百万円増加いたしました。これは主に買掛金が307百万円増加した一方で、賞与引当金が81百万円、法人税等の納付により未払法人税等が206百万円減少したことによるものであります。買掛金の増加は、前第4四半期連結会計期間に比べて当第1四半期連結会計期間の売上高が増加したことに伴い、売上原価も増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は4,202百万円となり、前連結会計年度末に比べ94百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は4,926百万円となり、前連結会計年度末に比べ57百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益60百万円及び剰余金の配当115百万円により、利益剰余金が54百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は54.0%（前連結会計年度末は54.8%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年11月12日の「2019年9月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,403,968	3,703,661
受取手形及び売掛金	2,950,659	3,727,314
その他	395,259	366,774
貸倒引当金	△4,409	△5,793
流動資産合計	7,745,477	7,791,957
固定資産		
有形固定資産	295,438	280,324
無形固定資産		
その他	320,187	339,356
無形固定資産合計	320,187	339,356
投資その他の資産		
その他	750,722	737,687
貸倒引当金	△20,276	△21,052
投資その他の資産合計	730,446	716,635
固定資産合計	1,346,072	1,336,316
資産合計	9,091,550	9,128,273
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,224,303	3,532,007
未払法人税等	229,818	23,184
賞与引当金	161,921	80,650
その他	412,355	492,801
流動負債合計	4,028,399	4,128,643
固定負債		
その他	79,857	73,624
固定負債合計	79,857	73,624
負債合計	4,108,256	4,202,268
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	984,653	984,653
資本剰余金	725,000	725,000
利益剰余金	3,357,377	3,302,499
自己株式	△100,352	△100,352
株主資本合計	4,966,679	4,911,801
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,436	28,394
為替換算調整勘定	△11,573	△14,941
その他の包括利益累計額合計	15,862	13,452
新株予約権	752	752
純資産合計	4,983,293	4,926,005
負債純資産合計	9,091,550	9,128,273

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
売上高	7,234,555	6,233,401
売上原価	6,009,014	5,038,502
売上総利益	1,225,541	1,194,898
販売費及び一般管理費	1,036,031	1,105,174
営業利益	189,510	89,724
営業外収益		
為替差益	-	5,606
持分法による投資利益	3,330	357
投資事業組合運用益	10,211	12,100
その他	3,103	1,171
営業外収益合計	16,645	19,235
営業外費用		
為替差損	4,912	-
支払補償費	-	4,465
その他	357	321
営業外費用合計	5,270	4,787
経常利益	200,885	104,172
特別損失		
投資有価証券評価損	8,046	-
特別損失合計	8,046	-
税金等調整前四半期純利益	192,838	104,172
法人税、住民税及び事業税	36,713	14,472
法人税等調整額	29,346	29,268
法人税等合計	66,060	43,741
四半期純利益	126,778	60,431
親会社株主に帰属する四半期純利益	126,778	60,431

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	126,778	60,431
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△114	957
為替換算調整勘定	971	△3,587
持分法適用会社に対する持分相当額	△389	218
その他の包括利益合計	467	△2,410
四半期包括利益	127,246	58,020
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	127,246	58,020



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2018年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	インターネット 広告	メディア運営	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,002,669	231,885	7,234,555	—	7,234,555
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	35,397	35,397	△35,397	—
計	7,002,669	267,283	7,269,953	△35,397	7,234,555
セグメント利益	183,081	6,429	189,510	—	189,510

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	インターネット 広告	メディア運営	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,008,066	225,335	6,233,401	—	6,233,401
セグメント間の内部売上高 又は振替高	821	31,850	32,672	△32,672	—
計	6,008,887	257,186	6,266,073	△32,672	6,233,401
セグメント利益又は損失(△)	161,293	△71,569	89,724	—	89,724

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。